

ミリ波パッシブイメージング装置の開発と実用化

責任機関：東北大学

参画機関：マスプロ電工(株)、中央電子(株)

研究の概要

実施予定期間：平成22年度～平成26年度(5年間)

不審者が所持する衣服下の危険物を非侵襲、非接触で検知可能なミリ波パッシブイメージング技術を利用し、空港等の高度な保安対策を要する拠点におけるテロ行為を未然に防ぐための危険物検知システムを開発します。具体的には、既に開発した据え置き型ミリ波パッシブイメージング装置のさらなる小型化、軽量化、高画質化を図るとともに、空港保安検査場等の設置余地を考慮し、金属探知機等の既設装置との併設あるいは一体化が容易な壁型装置および二次的な検査を目的としたハンディー型装置を開発することを目標とします。さらに、プライバシーの問題、空港保安検査場等の設置余地を考慮した実用装置を開発することを目標とします。

据え置き型ミリ波パッシブイメージング装置のさらなる小型化、軽量化、高画質化

運用イメージ



小型化

金属探知機等の既設装置との併設・一体化が容易な壁型装置

運用イメージ



二次検査用ハンディー型装置

